



2020.01.27

Gワークチャレンジ推進フォーラム

# 県立高崎北高等学校 探究型インターンシップ 取り組み概要について



027-373-1611

[takakita-hs03@edu-g.gsn.ed.jp](mailto:takakita-hs03@edu-g.gsn.ed.jp)

<https://takakita-hs.gsn.ed.jp/>

# 進学校全員インターンシップの課題

## 学校

### 「必要性が感じられない」

- ・ 「中学校の職場体験と何が違うの？」
- ・ 「進学校においては『学力』重視でしょう？」
- ・ 「就きたい職業に直結しないのでは？」

## 企業等

### 「受け入れられるか不安…」

- ・ 「専門性が高い仕事なので経験させられない」
- ・ 「どういう風に受け入れたらいいかわからない」
- ・ 「メリットが無いと社内調整しづらい」

## 学校に応じた目的を明確にして生徒を**学びの主体**に。

(大人の目的である“職業観の醸成”等という言葉の落とし穴にはまらず、生徒の目的から考える)

## 運営面

### 「全体的に推進できるかの不透明さ」

- ・ 「協力企業があつまるのか？」
- ・ 「生徒は学びは深まるのか？」
- ・ 「多忙化解消の逆行？負担増えないか？」

ビジョンを共有し、  
体制を組み、  
チームで取り組む。

- ①探究部の設立
- ②経済団体への依頼

## 高崎北高等学校「探究型インターンシップ」

2030年の

「**社会を創る仕事の未来**」

を探究するインターンシップ

## ポイント

## 探究型であること

2030年、  
いま体験している仕事の未来は  
どうなっているのか？

そんな「問い」「疑問」を持ちながら、  
3日間のインターンシップを経験していきます。

たとえば

介護×  
AI・ICTで  
変わっていく？

スポーツは  
仕事になる？

子どもに関わる仕事は、  
もっともっと  
専門的になる？

ものづくりの技術と  
人材育成力は海外向けの  
研修サービスに？

映像の需要は  
ますます高まる？

生徒が「体験する仕事の未来」を思い描きながら、  
臨むインターンシップ。



# モデルプログラムの例

8月28日-30日 計3日間 モデルプログラム

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
第1日	挨拶 & テーマ説明 ※事前に概要は連絡済	経営者インタビュー	業務同行	休憩	業務同行	業務同行	業務同行	振り返り① ・質疑応答 ・座談会	
第2日	社員インタビュー	業務同行	業務同行	休憩	業務同行	業務同行	業務同行	振り返り② ・考察 ・提案 ・明日の展望 ・質疑応答	
第3日	就業体験	就業体験	就業体験	休憩	就業体験	就業体験	就業体験	振り返り③ ・テーマ概説 ・考察・提案 ・今後の展望 ・質疑応答	

※本モデルプログラムはあくまで参考のものです。実施にあたってはこの限りではございません。

## インタビューを行い、自身のテーマを深める



# 実施体制 【群馬県立高崎北高等学校 × NPO法人DNA】

「未来を拓く人」を育てる

参加生徒 **240**名

生徒

- ・ 事前学習
- ・ 事後学習

保護者

- ・ 趣旨説明
- ・ 報告会開催

教職員

- ・ 授業実施
- ・ 各調整

高崎北高校

- ・ 学内調整・情報管理
- ・ 渉外対応
- ・ 生徒への指導 他

**あらかぎ探究推進部**

- ・ カリキュラム策定/コーディネート
- ・ 各種資料作成 他

NPO法人DNA

協力企業等 **117**社

経済団体

- ・ 群馬経済同友会
- ・ 群馬中小企業家同友会

公共団体

- ・ 高崎市役所 等
- ・ 群馬県看護協会

各個別企業

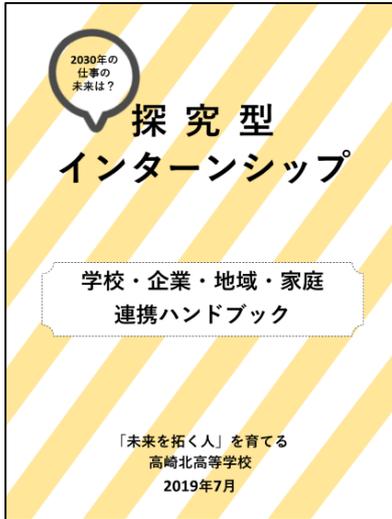
- ・ 学校長, 代表理事が個別依頼

群馬の10代に、しなやかな学びを。

■あらかぎ探究推進部

校長、教頭、部長、中心教諭4名、NPO法人DNAより3名

# 工夫点・教材等の取り組み

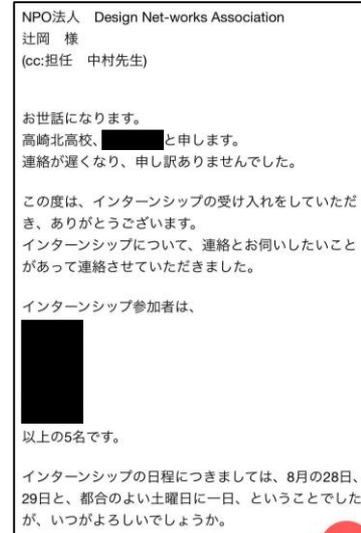


## ■ハンドブックの作成

- ・ビジョン共有
- ・趣旨理解

## ■日誌の作成

- ・体験したことを基に  
“振り返り”重視



## ■生徒が主体で連絡・やりとり

- ・企業エントリーまでは校内
- ・企業が決まったら連絡  
※公的文書等のやりとりは  
学校として行っている

## ■ICT環境・Googleアカウント活用

- ・生徒と企業等とのやり取り
- ・企業エントリー、アンケート



## ■チーム会議による共有

- ・目的の確認
- ・推進の方向性の確認

## ■運営の属人化排除

- ・資料番号の徹底 様式505等
- ・連絡窓口アドレスの一本化
- ・ハンドブック等の活用

## ■事前に周知・依頼

- ・経済団体等への依頼
- ・公共団体等への依頼
- ・事前に打ち合わせを実施

# 学びの共有



## ■高北仕事図鑑2030

- ・ 学びの共有
- ・ 群馬の企業を知る
- ・ HPに公開中  
(保護者にも企業を知ってもらう)
- ・ ポスターセッション資料にも利用  
(限られた時間の中で生徒・教員の負担軽減)

## ■ポスターセッション（報告会の開催）

- ・ 相互成長・理解の場
- ・ 学びを深めて日常につなげる
- ・ 全員が、1人25分の持ち時間で  
繰り返し発表
- ・ 2年生も参加し、意見をもらう
- ・ 受入先の企業、団体、県内公立高校、  
保護者にも案内





# 今後の展開

## 新 1 年 生

- ・ 受入先企業等のリスト強化  
⇒ 個の学びの充実
- ・ 社会に開かれた教育課程  
⇒ 経済団体、公共団体とビジョンの共有をより一層図る
- ・ 事前指導の充実  
⇒ 年間計画見直しにより時間の確保  
受入先とのやり取りを丁寧に  
ICT・BYOD指導

## 新 2 年 生

- ・ テーマ探究へのきっかけ  
⇒ Will（自分理解）× Needs（社会理解）による問づくり
- ・ フィールドワークの導入  
⇒ 大学訪問、企業訪問のほか、受入先にも積極的に訪問し探究を深める